

おしらせ PTA の案内

11月27日(金)

~今年、メロディーブックはありません~

- 授業参観 12:45~13:30(各教室)
- 人権講演会 13:40~14:40(体育館)
※講師 竹下 幸喜さん(ほめる教育研究所)
- 臨時総会 14:50~15:35(体育館)
- 学級懇談会 15:40~16:40(各教室)



十月がんばった

10月図書室の本・多読者

■1年生 ~11/6現在 19,009冊~

①長木・吉武(36冊) ③重末(34冊)

■2年生

①森崎(33冊) ②福田(22冊)
③瀬田・中野(20冊)

■3年生

①島岡(30冊) ②平川・山下・
山本稀叶(26冊)



■4年生

①國廣・島本(40冊) ③長田・
野田・松本(38冊)

■5年生

①小股・西村・山下・平川・
松木(40冊)



■6年生

①鶴田(26冊) ②平田(25冊)
③諫山・吉武初輝・栗田・佐藤
(24冊)

継続させたい読書

■お知らせください

~子どもの見守りウンドブレーカー~

国東小校区で、朝の登校の見守り等をしてくださっている方がいましたら、蛍光色の長袖のウンドブレーカーを差し上げますので、お知らせください。よろしくお願ひいたします。

連絡先・・・・国東小 72-1412

吉村先生お休みに入れます

~ご懷妊・体調等により~

1年学級の支援にあたっていた、特別支援教育支援員の吉村先生が、お休みに入れます。元気な赤ちゃんの誕生を祈っています。

子どもに「自分にはできるんだ！」 という肯定的な感覚を持たせましょう

飯塚レッドスターズ(野球部)の快進撃です。
今年度、国東地区(含姫島)の公式戦において、一度も負けていないのです。
なんと、4連続優勝！先日、「ついに連勝がストップするのか」と、多くの観戦者が思つた試合がありました。準決勝で対戦した武蔵コンドルズとの試合です。レッドスターズは、最終回を残して1対3で負けていました。しかし、それをひっくり返したのです。

試合後、レッドスターズのメンバー一人ひとりに聞きました。「負けているとき、どんな気持ちだったのか」と。すると、多くの子どもたちが、「逆転できると思つていた」

「俺たちはチャンピオンだから負けるはずはないと思っていた」「優勝できると思っていた」と答えたのです。もちろん、「今度は負ける」と思つていた子どももいましたが、厳しい状況にあっても「負けない」「なんとかなる」というポジティブ思考が、逆転劇を生じさせたのかもしれません。



狩猟期間に注意

※狩猟期は、11月1日~3月31日の期間です。

今、狩猟期間中です。山に入るときは、十分配慮(目立つ色の服を着る等)をしてください。

- 子どもだけで山に行かせない。
- 鉄砲の音がしたら、見通しのよいところに移動する。

学校だより 国東小学校 文責 校長 糸永敏明

國東小

2020/11/11 NO. 28

「できると思えばできる、できないと思えばできない。これはやるぎない絶対的な法則である」！パブロ・ピカソ

—表面からの続き—

もちろん「苦手と」思い込んでいる子どもには、個別指導等の支援をします。そして「できた！」と感じさせるように心がけています。全てうまくいくわけではありませんが、「できる」「うまくいく」と思わせると、その子どもの持っている能力が十分に發揮されやすいのではないかと思うのです。

子どもの行動のよさ等をほめ、心から「あなたならできる」などの言葉のシャワーをかけてあげましよう。我が子の良いところを見つけて言つてあげましょう。そして、そつとサポートをしてあげて、自分の力でできたのだと感じさせることが大切だと思います。

■「できる」と思い込ませることで実現可能に

近づく

実現したいことを実現できないでいる子ども(人)は、決して能力が足りないわけではないと思います。「できる」と思い込む(自信はなくても自分に言い聞かせる)ことで、実現する可能性が高まっていくのではないかでしょうか。

飯塚レッズスターはチーム全体が「きつとうまくいく」という正のスパイラル思考で、勝ちがらせがついてきているのだと思います。もちろん、指導者の素晴らしいしさ、日々の練習の効果が大きいのは言うまでもありませんが。

・素敵だね
・ありがとう
・きつとできる
・成功するよ
・大丈夫



■プラスとなる良い言葉を使うことを習慣にしてみましょう。

■国小のゲーム機・スマホ等の約束 お願い

～早寝・早起きに支障が出ないように～

- 家庭でしっかりと守らせましょう -

① 夜、9時にはゲーム機・タブレット等を子どもから回収

② 1日の使用時間は、1時間以内を守らせる。

◇ゲーム依存…生活の乱れにつながります。

③ 危険なサイトを開かせたり、アプリをとったりさせない。

◇SNS(フェイスブック・ツイッター・LINE・インスタグラム・

YouTube等)…トラブルや犯罪に巻き込まれることも

※インターネット上には、アダルトサイトや違法なサイト、課金して使うアプリなど、子どもによくない影響を与える可能性のあるものがたくさんあります。子どもがネット等を使用する機器には、必ず「フィルタリング」を行って、閲覧制限をするようにお願いいたします。

④ 人の悪口は、絶対に書き込ませない。



■「おはようございます」は元気の 源

～いつでもどこでも自分からあいさつ～

出会った人に、自分からあいさつをする子どもになってほしいです。ご家庭でも、朝、「おはようございます」を家族どうしでも交わすことをお願いします。あいさつは、人と人のふれあいの始まりです。

■コロナに負けない体の免疫力をつけさせましょう

①食事で免疫力アップ……バランスのよい食事を。

・野菜、発酵食品、ヨーグルト等で腸内環境を整えさせましょう。

②睡眠をしっかりとらせましょう……9時間以上は寝させる。

・夜ふかしはしない、規則正しい生活を。

③適度な運動……自力登校させる。



■ポジティブ(積極的)な思い込みに根拠はなくともよい

ここで大切なのは、「ポジティブ(積極的)な思い込みに根拠はなくともよい」ということです。そもそも「できない」という思い込みも、自分で勝手に思っている場合がよくあります。

ですから、「あなたには無理じゃない?」という声のかけ方をしてしまうのは、子どもに「ぼくにはできない」という暗示をかけている「ぼくにはできない」と思っています。そうなると、「自分にはできない」と思い込むから、それでどんどんできなくなっていく負のスパイラル(連鎖的な変動)に陥つていく可能性があります。

